

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和4年6月22日 No. 14 文責：佐野紳二

水泳の授業が始まりました！

午後から気温が上がった6月17日、全校のトップを切って2年1組が水泳の授業を行いました。気温は高かったとはいえ水温は若干低めだったので、最初に水に足をつけたときは子どもたちからも「つめたーい」という声が上がっていましたが、すぐに水温にも慣れ、小学校生活初めてのプールを楽しんでいました。1年生のときに水泳の授業がなかったので、この日も水に慣れることを目標に授業が行われていました。

週間天気予報を見ると、残念なことに今週の後半は曇マークが並んでいるようですが、できるだけプールに入る時間が確保できるよう、工夫しながら学習を進めていきたいと思えます。場合によっては、週の予定にない日や時間にプールに入ることがあるかも知れませんが、そのときには前日に連絡帳でお知らせをしますので、健康チェック等へのご協力をお願いします。



浄水場・下水処理場の見学

20日（月）、4年生が今年2回目の社会科見学に行ってきました。今回の見学場所は駒場浄水場と釜無川浄化センターです。駒場浄水場では、取水口から取り入れた水（御勅使川の水です）をろ過や沈殿・消毒などの過程を経て、安全な飲み水にするまでのようすを、浄化センターでは中巨摩をはじめ、多くの地域から集められた下水を、主に微生物の力を使って浄化していく様子を実際に見せていただきました。

小学校の社会科（特に3、4年生の学習）では、資料や映像を使っでの学習だけでなく、実際にその場所を訪れ、実物を見たり、音を聞いたり、匂いをかいだりして五感で学ぶことがとても大切です。（そうすることによって、学習したことが実感を伴う記憶＝エピソード記憶となり、子どもたちの記憶により残りやすくなります）コロナ禍においても、こうして小学生の見学を受け入れてくださる施設の皆様には、感謝するばかりです。きっと今回の社会科見学も、子どもたちにとって「いい学び」になったことと思います。今回の見学を、これからの学習にもしっかり生かしていきましょう！



内藤多仲博士 改めて調べてみました

先々週、6年生に連れていってもらった修学旅行で、久しぶりに訪れた東京タワー。内藤多仲博士が設計したことも、内藤多仲博士が橿形北小学校の出身であることも一応は知っていましたが、その他のことについてはあまり詳しく知りませんでした。せっかくの機会なので、本校に残されている文献等も使って、内藤多仲博士のことについて調べてみました。みなさんにとっては「そんなこと知ってるよ!」ということばかりかも知れませんが、お付き合いください。

- ◇ 1886年6月12日に、中巨摩郡榊村（現在の曲輪田）に生まれる。
- ◇ 榊小学校の曲輪田分教場に2年間、その後、上宮地の本校に2年間通う（尋常小学校）。
曲輪田分教場での担任の先生は今津亀三郎先生。当時の児童数は10名。
- ◇ 上宮地の学校に通っていた頃は、隣の部落の子どもたちと毎日のように石合戦（石の投げ合い）をしていた。どちらかというとかギ大将タイプの子も多かったようですよ。
- ◇ 高等小学校は小笠原にある学校に通い、よく伝嗣院の裏山に登って赤ツツジの花を食べていた。
- ◇ その後、甲府中学（現在の甲府一高）、東京の第一高等学校（現在の東京大学教養学部）、東京帝国大学工科大学（現在の東京大学工学部）に進学する。
- ◇ 1917年、アメリカの高層建築視察のため、客船ペルシャ丸で海を渡る。
このとき、トランクの構造をヒントに、耐震構造についての発想を得たと言われている。
- ◇ 1922年、「架構建築耐震構造論」に研究結果をまとめて発表。理論に基づき、東京の歌舞伎座や日本興業銀行の設計を行う。
- ◇ 1923年に起こった関東大震災でも、博士が設計した建築物は倒壊せず、一躍脚光を浴びる。
- ◇ 1954年から1964年にかけて、名古屋テレビ塔、大阪通天閣、別府テレビ塔、札幌テレビ塔、東京タワー、博多タワー（この6つのタワーを「タワー6兄弟」というそうです）など、博士が設計した塔が次々と建築される。

- ◇ 母校である橿形北小学校には、博士の書がいくつか残されている。最も有名な「積み重ね つみ重ねても またつみかさね」の句は石碑に刻まれると同時に、色紙にも書が記されていて、現在、校長室に飾られている。校長室には、その他にも「為善獲福」の書がある。



- ◇ 平成8年度卒業生の卒業制作に刻まれており、橿形中学校の校訓にもなっている「高登彼岸」の書（の複製と思われる）は痛みが激しく、現在は掲示されていない。
- ◇ 平成17年には小学館の「小学四年生」に、内藤多仲博士の学習マンガ（まんが人物伝）が掲載されたことがある。（本校にも資料が残っていますが、著作権もあると思われるので、掲載は控えます）

子どもの頃のエピソードを中心に紹介してみました、いかがでしょうか？

校長室には、内藤多仲博士に関する書物が何冊かありますので、興味がある方は是非、校長室までお越しください。貸し出しはできませんが、その場で見ていただくことは可能です。

校長室にある「為善獲福」の書と、いくつかの文献

